

政策評価書（要旨） （事前の事業評価）

事業名	掃海艇(570トン型MSC)	担当部局	防衛局計画課
政策分野	防衛力整備	実施時期	15年6月～8月

事業の内容	<p>機雷の高性能化に対応し、必要な機雷対処能力を確保するため、能力向上を図った掃海艇（570トン型MSC）を平成16年度に1隻整備する。</p>	16	17	18	19	<p>完了年度：H19年度 経費総額：約180億円</p>
所要経費		約180億円（後年度負担額を含む。）	調達 ←			
ひこしま除籍						

評価の内容

事業の目的	事業実施の効果・時期
<p>ホーミング（自動追尾）化など高性能化の傾向にある近年の機雷に対応するため、機雷の搜索と処分をあわせて行える水中航走式機雷掃討具を搭載した掃海艇を整備し、機雷対処能力の向上を図る。</p>	<p>性能向上を図った掃海艇を整備することにより、部隊の要員を危険にさらすことなく高性能化した機雷の排除が可能となり、周辺海域の防衛能力及び海上交通の安全確保能力を維持向上させる効果が得られる。 16年度に調達を開始し、19年度に就役予定。</p>
事業の必要性・適正性	
<p>平成19年度に現有の掃海艇「ひこしま」1隻の除籍が見込まれるため、減耗分を補充する必要がある。 高性能機雷であるホーミング機雷等に対しては、その追尾範囲外において機雷を搜索し処分するため、艇の前方に展開し、機雷の搜索と処分をあわせて行える水中航走式の機雷掃討具による処分が有効であるので、当該水中航走式機雷掃討具を備えた掃海艇を平成16年度に整備する。</p>	

今後の対応

その他の参考情報

<p>機雷の高性能化に対応し、機雷の搜索と処分をあわせて行える水中航走式機雷掃討具を搭載して能力向上を図った掃海艇は我が国防衛に有用であると評価できることから、平成16年度に所要の予算要求を行う。</p>	
--	--